

資 料

「技術革新・中高齢化と人材の有効活用に関する調査」
御協力をお願い

昭和57年3月

事業所総務部長 殿

拝啓 時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、経済の減速化、高齢化社会への移行、国際競争の激化など、企業をとりまく内外の環境条件が厳しさを増す中で、事業の発展のために設備の合理化、技能水準の向上などに平素並々ならぬ御尽力をいただき、深い敬意を表する次第であります。

当職業訓練研究センターでは、このたび労働省職業訓練局の要請に基づき、技術革新、中高齢化時代に対応した企業の人材育成事業の振興および国の中高年齢者対策・技能向上対策推進の基礎資料とするため、「技術革新・中高齢化と人材の有効活用に関する調査」を行うことといたしました。

御多忙中のところ御迷惑をおかけしてたいへん恐縮に存じますが、どうぞ御協力くださいますようお願い申し上げます。

この調査の対象は、全国の規模30人以上の製造業に属する事業所および公共養成訓練修了者採用事業所の中からくじ引きのような方法で約5,000所を抽出しましたところ貴事業所が選ばれましたので御了承ください。

この調査では、事業所票と個人票の2種類の調査票を用意してあります。

事業所票では生産技術の進展に伴う技能ニーズの変化が中心的テーマとなっておりますので、貴事業所の生産技術担当部が中心になり、人事・勤労部の御協力を得て御記入いただきますようお願いくだされば幸いです。

個人票は、貴事業所の現業・技能系従業員の中から別紙記載の方法で対象者を選んでいただき、選ばれた方に、事業所を通して調査票の配付、記入依頼、回収をお願いいたしたく存じます。

本日、持参いたしました調査票は、4、5日後、同じ調査員が回収にお伺いすることとしておりますので、3月 日までに御記入いただき、個人票と合わせてお渡しくделаいますよう重ねてお願いいたします。

なお、この調査は、当職業訓練研究センターが企画・実施するものでありますが、調査票の配付・回収の業務を社団法人中央調査社に委託しております。同調査社は、国立世論調査所と時事通信社調査室が合併して昭和29年に発足して以来、総理府をはじめ多くの官公庁から年々各種調査を受託実施している伝統のある公益法人の調査機関であり、調査上知り得た秘密保持には特に留意することとしておりますので念のため申し添えます。

それでは何分よろしくお願いいたします。

時節柄、くれぐれも御自愛のほどお祈り申し上げます。

敬 具

雇用促進事業団 職業訓練研究センター
(労働省所管)

〒229 神奈川県相模原市相原1960
電話 0427-61-9911
(調査担当 泉, 安井, 七尾)

追記

本調査に関するお問い合わせは、直接、上記の職業訓練研究センターまたは下記あて御連絡ください。

社団法人 中央調査社

(東京都千代田区日比谷公園1-3・市政会館)
(電話) 03-591-7204 (管理部)

個人調査の対象と人員の抽出方法について

1. 調査の対象者

本調査の対象となる個人は、「現業・技能系従業員」です。「技能工・生産工程従事者」ともいいますが、その中には、オペレーター，作業員のほか、機械設備の修理・保守要員，設計開発部門の技術者の補佐職，班長・組長等の現場監督者を含みます。但し、自動車運転手や運搬員・清掃員等単純労務者は含まれません。

2. 調査の対象となる個人は、「現業・技能系従業員名簿」から貴事業所の全従業員数の規模によって次の表に示す人員を抽出します。

全従業員数の規模	調査の対象となる現業・技能系従業員数
1000人以上の事業所	50人
300人以上999人以下	30人
100人以上299人以下	15人
30人以上 99人以下	10人
29人以下	5人

↓

(注) 全従業員数の規模は次によります。

- (1) 事業所単位の人員です。本社、A工場、B工場等がそれぞれ一つの事業所となります。
- (2) 職種に関係なく、全職種の従業員数によります。
- (3) 本雇、臨時、パートを含めた全従業員数によります。但し、日雇は除きます。

3. 抽出の方法を全従業員数110人、うち「現業・技能系従業員」70人の場合を例にとって説明します。
- (1) 全従業員の規模が「100人以上299人以下」ですから、個人調査の対象となる現業・技能系従業員数は15人です。
 - (2) 「現業・技能系従業員」70人から15人を抽出します。したがって $\frac{15}{70} = \frac{1}{4.7}$ ですから4人に1人の割合で対象者を選びます。
 - (3) 初めにサイコロ等でスタート番号をきめ、それが3番になったとします。従業員名簿の3番目にあたる人、次は7番目(=3+4)にあたる人、その次は11番目の人、このようにして15人まで選びます。
4. 以上の説明は、「現業・技能系従業員名簿」があるものとして説明してきましたが、全従業員の名簿しかないような場合は、その名簿の中の「現業・技能系従業員」の名前に1番から順次仮番を打ち、仮番のついた従業員に対して、上の3と同じ方法で抽出すれば求める人員が得られます。

~~~~~  
 ) この調査は、統計以外の目的に用いることは決してありませんから、 )  
 ) ありのままを記入して下さいようお願いします。 )  
 ~~~~~

技術革新・中高齢化と人材の有効活用に関する調査事業所票

昭和 57 年 3 月

雇用促進事業団 職業訓練研究センター
 (労働省所管)
 神奈川県相模原市相原1,960
 電話 0427-61-9911

※ この調査は事業所単位の調査です。本社、支店、営業所等がそれぞれ一つの事業所となります。同一会社が異なる場所で事業を営んでいる場合は、それぞれ異なる場所ごとに一つの事業所とします。

<記入上の注意>

1. 記入は、あてはまる回答を一つ（特に指定のある場合は、その数）選びその番号を右端の□の中に記入してください。
2. 質問文の下の〔 〕、□の箇所には、文章又は数字で記入してください。
3. ※印欄のある箇所には記入しないでください。

※

支 部	地 点	対 象	事 団	一 訓	県	事 業 所	本支規	産 業	個 数		
			1								

I 貴事業所の概要、出荷額等について

回答欄

問1 貴事業所の概要について御記入下さい。

イ 事業所の名称 TEL — —

ロ 記入担当者御氏名

御氏名	所属課名
-----	------

ハ 主な生産品の名称 { _____ }

ニ 本社、工場等を合わせた企業全体の従業員数

1. 29人以下	4. 300~999人
2. 30~99人	5. 1,000~4,999人
3. 100~299人	6. 5,000人以上

※ 26

--	--

29

--

問2 貴事業所の従業員数を下表に御記入下さい。

年次	人 員			
	万	千		
30 昭和51年末				
35 56年末				

(注1) 本雇、臨時雇及びパートの合計人員を記入してください。 (30-34)

(注2) 52年以降に新設、合併等があり、51年末の人員数不明の場合は51年の記入はいりません。 (35-39)

問3 貴事業所の年間出荷額を下表に御記入ください。

年次	年間出荷額							
	(十億)				(百万)			
40 昭和51年								
46 56年								

(40-45)

(46-51)

Ⅱ 新しい機械設備の導入状況と現業・技能系従業員の配置について

回答欄

問 6 貴事業所では、生産の自動化のため、エレクトロニクスを応用した自動制御機器（マイクロコンピュータ、シーケンス電子回路等）を組みこんだ自動化機械設備（以下、単に「自動化機械設備」といいます。）をこの5，6年間に導入しましたか。

（注） 「自動化機械設備」には、材料・部品の自動加工・組立・検査、自動供給・搬送等のための機械設備、またはそれらを結合した装置等を含みます。

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 導入した |
| 2 | まだ導入していないが、導入について検討中である |
| 3 | 導入することは考えていない |
| 4 | わからない |

58

問 7 「自動化機械設備」を今後積極的に導入してゆく上で何か障害になると思われるものがありますか。あてはまる項目のうち、主なものを2つまで選んでください。

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 | 価格又はリース料金が高すぎる |
| 2 | ロットが少ない。又はスペックがよく変わるので採算に乗らない |
| 3 | 当事業所の生産システムに適合する機械設備がみあたらない |
| 4 | エレクトロニクスによらない自動化で間に合っている |
| 5 | 自動化機械設備を使いこなす人材を充足できそうにない |
| 6 | メンテナンスの態勢に不安がある |
| 7 | 導入に対して従業員の側に抵抗感がある |
| 8 | その他() |
| 9 | 特にない |

59

以下の問 8 から問 11 までは、問 6 で「1 導入した」と回答された事業所のみ御記入ください。それ以外の事業所は、問 12 へ進んでください。

問8 貴事業所がこの5, 6年間に導入した主な「自動化機械設備」の種類は次のどれですか。あてはまる項目の番号をいくつでも選んでください。5つの種類以外のものについては、機種名と用途を例に従って記入してください。

	種 類	用 途
1	NC工作機、マシニングセンター (プログラムテープの指令によって自動的に加工する工作機械)	機 械 加 工
2	トランスフェーマシン (数台の専用機を加工順序に従って並べ、工作物を順次自動的に移動させることによって全加工を完了する専用機群)	機 械 加 工
3	産業用ロボット (人間の四肢の運動機能に類似した自由度の高い運動機能によって加工、搬送、検査、測定等の作業を自動的に処理する機械設備)	加工、搬送 検査、測定
4	CAD・CAM (コンピューターによって自動設計から自動製造までを行う機械設備)	設計、加工
5	プロセス・オートメーション (化学反応、製鋼、精糖等を自動的に連続処理する装置)	流体加工 処理
	(上記5種類に該当しないものは、「電算写植機」「電算編組機」のように主な機種名とその用途を記入してください)	
6	[]	[]
7	[]	[]
8	[]	[]

回答欄

61

62

63

64

65

※66

※68

※70

問9 貴事業所では、「自動化機械設備」の操作等の職務をそれぞれどの従業員が分担していますか。貴事業所にとって最も重要と思われる機械設備について御記入ください。イからトまでの各項目ごとにあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

職務	従業員	現業・技能系従業員			技術者	外注	該当作業なし
		一般技能工	保守要員	監督者			
1 イ 起動、停止及び監視		1	2	3	4	5	6
7 ロ 測定、検査、記録		1	2	3	4	5	6
13 ハ プログラミング		1	2	3	4	5	6
19 ニ 段取替え、調整		1	2	3	4	5	6
25 ホ 故障予知、故障診断		1	2	3	4	5	6
31 ヘ 簡単な修理		1	2	3	4	5	6
37 ト 大きな修理		1	2	3	4	5	6

問10 問9と同じ最も重要と思われる「自動化機械設備」に配置している現業・技能系従業員は次のどれですか。1からホまでの各質問について、人員構成の多い順にあてはまる番号を上から順番にいくつでも記入してください。（あてはまらない番号は記入しないでください。）

(注) 「現業・技能系従業員」には、オペレーター、作業員のほか設備の保守要員、設計・開発・試作等に従事する技術者の補佐職・職長・組長等の監督者を含みます。但し、自動車運転手や運搬員・清掃員等単純労務者は含まれません。

問イ 年齢は次のどれですか

- | | | | | | |
|---|------------|---|------------|-------|--|
| 1 | 29歳まで | 3 | 40歳以上49歳まで | 最も多い→ | |
| 2 | 30歳以上39歳まで | 4 | 50歳以上 | 次に多い→ | |
| | | | | その次→ | |
| | | | | その次→ | |

問ロ 性別は次のどれですか。

- | | | | | | |
|---|---|---|---|-------|--|
| 1 | 男 | 2 | 女 | 最も多い→ | |
| | | | | 次に多い→ | |

問ハ 学歴等は次のどれですか。

- | | | | | | |
|---|----------|---|------------|-------|--|
| 1 | 中学卒・旧小卒 | 4 | 大学卒 | 最も多い→ | |
| 2 | 高校卒・旧中学卒 | 5 | 各種学校・専修学校卒 | 次に多い→ | |
| 3 | 短大・高専卒 | 6 | 公共職業訓練校卒 | その次→ | |
| | | | | その次→ | |
| | | | | その次→ | |

問ニ 技能レベルと理解力（設備についての関連知識など）は次のどれですか。

- | | | | |
|---|------------------------|-------|--|
| 1 | 技能レベルの高い者 | 最も多い→ | |
| 2 | 技能レベルよりも理解力のある者 | 次に多い→ | |
| 3 | 技能レベルが高く、理解力もある者 | その次→ | |
| 4 | 技能レベル、理解力いずれもそれほど高くない者 | その次→ | |
| 5 | その他() | その次→ | |

問ホ どこから充足しましたか。

- | | | | |
|---|------------------|-------|--|
| 1 | 同じ部門の旧設備の従事者 | 最も多い→ | |
| 2 | 他部門（類似設備）からの配転者 | 次に多い→ | |
| 3 | 他部門（非類似設備）からの配転者 | その次→ | |
| 4 | 中途採用者（経験者） | その次→ | |
| 5 | 中途採用者（未経験者） | その次→ | |
| 6 | 新規採用者 | その次→ | |
| 7 | その他() | その次→ | |

回答欄

43

47

49

52

55

58

60

63

Ⅱ 要員需要の変化と配置転換について

問 13 貴事業所では、この5年間に新しい機械設備の導入、合理化等に伴い、現業・技能系従業員の職種別構成比に変化がありましたか。

- | | | | |
|---|-----------|---|------------------|
| 1 | 大きな変化があった | 3 | 変化はなかった → 問 16 へ |
| 2 | 少し変化があった | | |



問 14 人員構成比の高まった職種のうち主なものをあげてください。

(例) NC工作機プログラマー

- | | | | |
|-----|---|-----|---|
| 1 (|) | 4 (|) |
| 2 (|) | 5 (|) |
| 3 (|) | | |

問 15 人員構成比の低下した職種のうち主なものをあげてください。

(例) 鋳物工

- | | | | |
|-----|---|-----|---|
| 1 (|) | 4 (|) |
| 2 (|) | 5 (|) |
| 3 (|) | | |

回答欄

80

※

81

※

※

85

※

※

89

※

91

※

※

95

※

※

99

問 16 貴事業所では、今後 5 年間に職種転換を必要とする現業・技能系従業員がでる見通しがありますか。

- | | |
|---|-----------|
| 1 | 大いにあると思う |
| 2 | まああると思う |
| 3 | どちらともいえない |

4 ないと思う → 問 19 へ



問 17 貴事業所では、在来の機械設備に配置していた中高年の現業・技能系従業員を職種転換する必要が生じた場合、予想される主な配転先は次のどれですか。あてはまるものの番号をいくつでも選んでください。

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 新しい機械設備 |
| 2 | すでにもっている技能をできるだけ生かせる社内の類似の職場 |
| 3 | 技能を生かせるかどうかにはこだわらず、受入れ可能な社内の職場 |
| 4 | 関連会社等への出向・応援 |
| 5 | その他() |

問 18 前問と同じく、在来の機械設備に配置していた中高年の現業・技能系従業員を職種転換する必要が生じた場合、その中高年者に対してどのような再教育を行いますか。あてはまるものの番号をいくつでも選んでください。

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1 | 配転前に社内の集合教育、又は社外の講習等を受けさせる |
| 2 | 配転後に社内の集合教育、又は社外の講習等を受けさせる |
| 3 | 配転後に日常の仕事の中で上司、先輩が教える |
| 4 | 再教育を実施したいが、経費、時間の面で余裕がないので実施できない |
| 5 | 再教育を行っても効果が上がらないから実施するつもりはない |
| 6 | わざわざ再教育しなくてもすむ仕事につけるから教育の必要はない |
| 7 | その他() |

回答欄

1

2

7

11

問 22 貴事業所の多能工化の主なねらいは次のどれですか。あてはまる番号をいくつでも選んでください。

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 生産性の向上、少数精鋭主義のため |
| 2 | 人材育成のため |
| 3 | 技術革新に対する適応力を高めるため |
| 4 | 仕事に対するやりがい、意欲を高めるため |
| 5 | 中高年対策の一環として |
| 6 | 老後の生活設計の援助として |
| 7 | その他() |

問 23 貴事業所では主にどのような方法で現業員の多能工化を図っていますか。あてはまる番号をいくつでも選んでください。

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1 | 種類の異なる仕事をいくつか計画的に経験させる |
| 2 | 計画的とはいえませんが、できるだけ多くの仕事を経験させる |
| 3 | 多能工化のための研修コースを受けさせる |
| 4 | 自己啓発を援助する (通信教育一部負担、勉強会の時間的配慮など) |
| 5 | 各種資格取得について援助する |
| 6 | その他() |

問 24 現業員の多能工化を進める場合、主にどのようにして従業員の希望を聞いていますか。あてはまる番号はいくつでも選んでください。

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 自己申告制度によって |
| 2 | 日常の接触・面談等によって |
| 3 | 基本方針について労働組合の意見を聞く |
| 4 | 会社独自の判断で実施し、希望は聞いていない |
| 5 | その他() |

回答欄

27

31

34

38

40

43

V 中堅技能者像とその育成について

回答欄

問 25 貴事業所が中堅技能者に対して期待する知識、技能のうち、次に掲げる項目の重要度は、この10年間に高まりましたか。それとも低下しましたか。イからレまでの各項目ごとにあてはまる番号を一つだけ○でかこんでください。

(注) 「中堅技能者」とは、生産現場の基幹的業務に配置されている技能工をいいます。役付の有無を問いません。

	1 重要度が 高まった	2 変わらない	3 重要度が 低下した	4 該当する 作業がない
イ 生産の速さ、精度を上げるための 経験で得られるカン、コツ的技能	1	2	3	4
ロ 機械設備の状態を診断する能力	1	2	3	4
ハ 機械設備の故障を修理する能力	1	2	3	4
ニ 製品を検査又は測定する能力	1	2	3	4
ホ 段取の能力	1	2	3	4
ヘ 図面を読む能力	1	2	3	4
ト プログラミングの能力	1	2	3	4
チ 問題発見、問題解決の能力	1	2	3	4
リ 材料に関する知識	1	2	3	4
ヌ 油圧、空圧に関する知識	1	2	3	4
ル 自動制御、シーケンスに関する知 識	1	2	3	4
オ 電気・電子に関する知識	1	2	3	4
ワ 数学に関する基礎知識	1	2	3	4
カ 前後の工程に関する知識	1	2	3	4
ヨ 連絡、打合わせ、報告等の能力	1	2	3	4
タ 品質管理に関する知識	1	2	3	4
レ 単調さに堪える能力	1	2	3	4

45

50

55

60

(例) いわれたことをきちっとする能力	1	②	3	4
---------------------	---	---	---	---

問 25A 前問のイからレのほかに、特に重要になった能力要件があれば具体的に記入してください。

※ 62

※ 64

問 26 貴事業所では新規採用者を中堅技能者に育成するために、どのような方法をとっていますか。次のイからハまでの各質問に対してあてはまる番号を1つずつ選んでください。

回答欄

問イ 新規採用者に対して付与すべき知識、技能など教育目標が明確にされていますか。

- 1 はい 2 いいえ

66

問ロ 新規採用者に対して期間をきめて養成訓練を実施していますか。

- 1 はい 2 いいえ → 問ハへ

67

ロ・A その期間はどれくらいですか。 → 年 カ月

ロ・B その期間中に仕事から離れて集合教育を実施していますか。

1 はい 2 いいえ → 問ハへ

↓

ロ・C 養成訓練期間中の集合教育の時間は何時間になりますか。
(1人平均)

→ 延 時間

(68-70)

71

(72-75)

問ハ 日常の仕事の中で新規採用者の指導にあたる人をきめていますか。

- 1 はい 2 いいえ

76

問 27 新規採用者に対する養成訓練のあり方について、次のような意見がありますが、貴事業所の意見はどれに近いですか。

- 1 中堅技能者として必要な基礎技能は、例えば機械工であればヤスリかけ、ハンマー打ち、旋盤技能である。養成訓練ではこのような基礎技能をしっかり身につけておくことが大切で、それがあれば技術革新によって必要とされる知識・技能が変わっても十分対応できる。
- 2 1のような基礎技能も大切だが、必要な知識・技能がどんどん変わっているので理解力、応用力を身につけるための教育も大切である。
- 3 1のような基礎技能は、日常の仕事の中であまり使われなくなっているから、教える必要はない。理解力・応用力を身につけることに的をしぼって教育したほうがよい。

77

問 30 貴事業所では、この3年間に公共職業訓練校の養成訓練修了者を採用しましたか。

1 採用した

2 採用したかったが採用できなかった
3 採用しなかった



問 32 へ

回答欄

1

2

3

4

5

6

7

問 31 その採用者をどのように評価しておられますか。

イ 定着性は高いですか。

- 1 非常に高い 2 まあ高い 3 普通 4 まあ低い
 5 非常に低い

ロ 訓練校で習得した技能は役に立っていますか。

- 1 非常に役に立つ 2 まあ役に立つ 3 どちらともいえない
 4 あまり役に立たない 5 ほとんど役に立たない

ハ 訓練校で習得した知識は役に立っていますか。

- 1 非常に役に立つ 2 まあ役に立つ 3 どちらともいえない
 4 あまり役に立たない 5 ほとんど役に立たない

ニ 応用力はありますか。

- 1 非常にある 2 まあある 3 普通 4 まあない
 5 ほとんどない

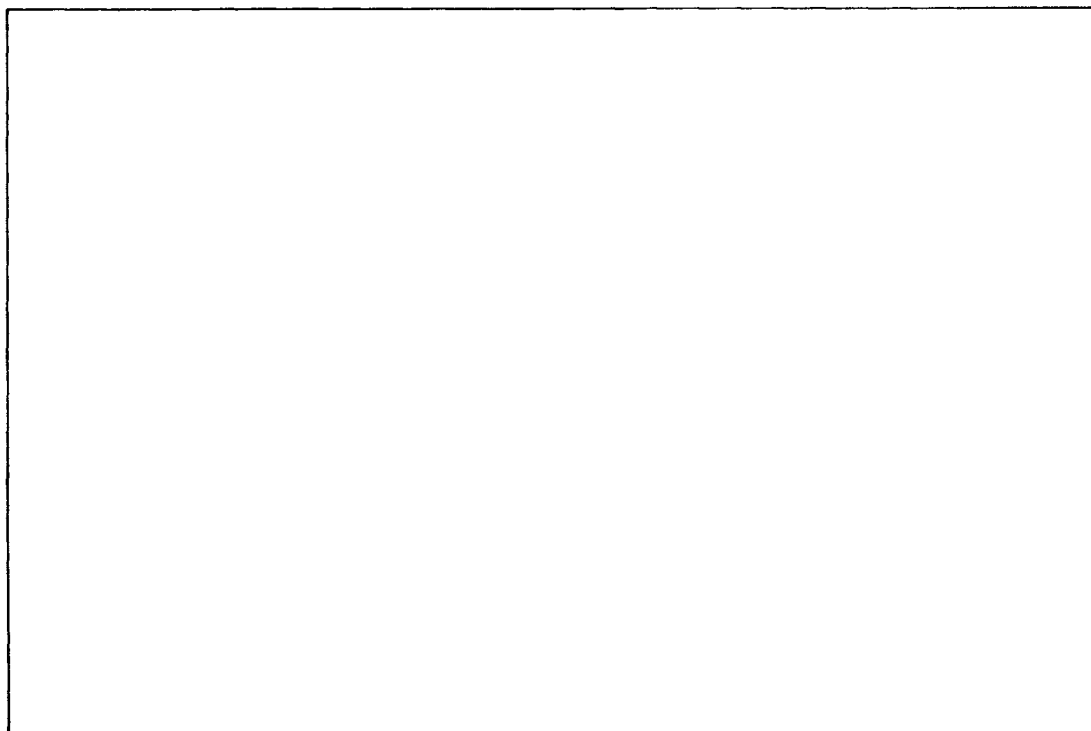
ホ 勤務態度はよいほうですか。

- 1 非常によい 2 まあよい 3 普通 4 まあ悪い
 5 非常に悪い

問 32 貴事業所では、公共職業訓練校の養成訓練修了者を今後採用するお考えがありますか。

- 1 是非採用したい
2 適格者があれば採用したい
3 何ともいえない
4 採用する考えはない

問 36 このアンケート調査について御意見があれば何でも結構ですから御記入下さい。



御多忙中のところ、長時間にわたり御協力頂きたいへんありがとうございました。

「技術革新・中高齢化と人材の有効活用に関する調査」

御協力のお願い

各位 殿

拝啓 余寒の候、お変わりございませんか。

さて、皆様の職場でも、最近、従業員の中高齢化や新規設備の導入に伴う仕事への影響などが何かと話題になっていると思いますが、いかがですか。

わが国では、いま、全体的傾向として高齢化社会への移行が進む中で中高年者の方がたの雇用の安定と働きがいのある職場の確保が求められています。また、日進月歩の技術を使いこなしてゆける適応力のある従業員の育成が企業のみならず、国にとっても重要な課題となっています。

このような問題に対して国や企業が適切な対策を講じてゆくために必要な基礎資料を得ることを目的として、私たち職業訓練研究センターでは、このたび労働省の要請に基づき添付の調査票によるアンケート調査を行うことになりました。

この調査の対象は、全国の製造業に働く技能系従業員の中からくじ引きのような方法で約 14,000 人を選びましたところ、あなたが選ばれましたので御了承ください。お忙しいところ御迷惑をおかけしてたいへん恐縮に存じますが、どうぞ御協力を賜わりますようお願い申し上げます。

御記入いただきました調査票は、4、5 日後調査員が回収にうかがいますので、恐れいりますが、3 月 日までに同封の封筒に入れ、封をした上で会社の御担当者のところへ御持参くださるようお願いいたします。

申し上げるまでもありませんが、調査票の記入内容については秘密を厳守し、会社の方にみせたり、他に洩らしたりすることは絶対にありませんから、どうぞありのままを御記入ください。

それでは何分よろしくようお願いいたします。時節柄、御自愛のほどお祈り申し上げ

ます。

敬 具

昭和57年3月 雇用促進事業団 職業訓練研究センター

(労働省所管)

229 神奈川県相模原市相原 1960

(電話 0427-61-9911)

担当 泉, 安井, 七尾

追記

本調査の実施は、下記調査機関に委託して行いますので、調査実施上のお問い合わせは、どうぞ下記あて御連絡ください。または、直接上記の職業訓練研究センターへお願いします。

社団法人 中央調査社

(東京都千代田区日比谷公園1-3・市政会館)

電話 03-591-7204 (管理部)

この調査は、統計以外の目的に用いることは決してありませんから、
ありのままを記入して下さいをお願いします。



技術革新・中高齢化と人材の有効活用に関する調査個人票

昭和57年3月

雇用促進事業団 職業訓練研究センター

(労働省所管)

神奈川県相模原市相原 1,960

電話 0427-61-9911

<記入上の注意>

- 1 記入は、あてはまる回答を一つ(特に指定のある場合はその数)選び、その番号を○でかこんでください。
- 2 []、□の箇所には、数字又は文章で記入してください。
- 3 ※および右端の□の中には何も記入しないでください。

<調査票回収のお願い>

御記入頂きました調査票は、同封の回収用封筒に入れ、昭和57年3月 日までに会社の調査御担当者にお渡しください。

※ 1

支局	地点	対象	8 事個	訓	県	事業所	16 本支規	産業	21 般卒	個番	
			2								

問1 あなたの性，年齢，学歴，勤続年数等についておたずねします。
 あてはまるものの番号をそれぞれ一つだけ○でかこんでください。

この欄には
 記入しないで
 ください

26

27

29

30

31

32

- (1) 性 別
- 1 男 子
- 2 女 子

(2) 満 年 齢 歳

- (3) 最 終 学 歴
- 1 中 学 ・ 旧 小 学 校 卒
- 2 高 校 ・ 旧 中 学 校 卒 (普 通 科)
- 3 同 上 (工 業 科)
- 4 同 上 (工 業 科 以 外 の 職 業 科)
- 5 短 大 以 上 卒

- (4) 職 業 訓 練 歴
- 1 企 業 内 養 成 訓 練 (期 間 1 年 以 上 の も の) 卒
- 2 公 共 職 業 訓 練 (期 間 1 年 以 上 の も の) 卒
- 3 各 種 学 校 ・ 専 修 学 校 卒
- 4 そ の 他

- (5) あな た が 現
 在 の 会 社 に
 入 っ て か ら
 何 年 に な り
 ま す か。
- 1 1 年 未 満
- 2 1 年 以 上 3 年 未 満
- 3 3 年 " 5 年 "
- 4 5 年 " 10 年 "
- 5 10 年 " 20 年 "
- 6 20 年 "

- (6) 役 付 の 有 無
- 1 役 付 (作 業 長 , 組 長 , 班 長)
- 2 一 般

1. あなたの現在のお仕事について

問2 あなたが現在従事している仕事は、次のどれですか。いくつかの仕事をしている場合にも、主なものの番号を一つだけ○でかこんでください。

金属材料

- 1 製鋼工，精練工（炉前工，造塊工，非鉄金属精練工等）
2 その他の金属材料製造工（熱処理工，圧延工，鋳物工等）

金属加工

- 3 機械工（旋盤工，フライス盤工，ボール盤工等）
4 プレス工
5 金型仕上工，治工具仕上工
6 溶接工
7 鉄工，製かん工，板金工，造船鉄工
8 その他の金属加工（研磨工，金属切断工，ばね製造工等）

電気精密機器

- 9 弱電機器・精密機器組立工・修理工（通信機，TV，カメラ等）
10 強電機器組立工・修理工（発電機，電動機，配電盤等）
11 半導体製品製造工，被覆電線製造工

輸送機器

- 12 自動車組立工（完成車，部品），自動車整備工
13 船舶・航空機・修理工
14 その他の輸送機械組立工・修理工（航空機，鉄道車輛等）

機械・設備

- 15 産業用機械組立工・据付工
16 機械設備修理工・保全工
17 電気工（電気工事士，電気設備工，電気保安工）

定置機関

- 18 ボイラー工，空調機器運転工
19 クレーン運転工，玉掛工
20 その他の定置機関運転工

化学塗装

- 21 化学工，石油精製工，化学繊維工，医薬品製造工，油脂加工工
22 塗装工

その他製造

- 23 製糸，紡織工
24 裁断，縫製工
25 製材工，合板工，木工，家具工
26 パルプ工，紙製品製造工
27 印刷工，製本工
28 ゴム・プラスチック製品製造工
29 窯業原料工，ガラス・陶磁器成型工，セメント製造工

準技術

- 30 生産管理，工程管理
31 製図，写図，現図
32 試験，分析
33 プログラミング

上記以外

- 34 その他

※ 33

--	--

問3 現在従事している仕事の経験年数は何年になりますか。あてはまるものの番号を一つだけ○でかこんでください。

(いまの会社へ就職する前に別の会社で同じ仕事に従事していた場合には、元の仕事に従事した期間も通算して記入してください。)

- 1 1年未満
- 2 1年以上3年未満
- 3 3年 " 5年 "
- 4 5年 " 10年 "
- 5 10年 " 20年 "
- 6 20年 "

問4 仕事をその内容によって次の7つに分けたとき、あなたの仕事はどれにあてはまりますか。いくつかある場合は、主なものの番号一つを◎で、従なものの番号一つを○でかこんでください。

- 1 機械、工具を操作して直接作業に従事する(品質、速さは、主に機械によってきまる)
- 2 同上 (品質、速さは、自分の腕がものをいう)
- 3 機械設備が自動的に作業するので、監視が主である。
- 4 工程管理、測定、分析、プログラミング、などの情報処理的作業に従事する。
- 5 機械、工具の修理、保全整備に従事する。
- 6 部下の指導監督に従事する。
- 7 その他()

問5 あなたが従事している仕事で、あなたの能力の発揮がもっとも求められるのは、次のどれですか。あてはまるものの番号を重要な順番に3つまで〔 〕の中に記入してください。

- 1 精度、品質を高めること (回答)
- 2 スピードをあげること 第1 → []
- 3 故障したときの処理 第2 → []
- 4 不良を発見したときの処置 第3 → []
- 5 効率のよいプログラムを組むこと
- 6 改善案を考えること
- 7 単調さに堪えること
- 8 その他()

この欄には
記入しないで
ください

35

36

38

問6 最近、5年間にあなたの仕事の内容は変わりましたか。

- 1 大きく変わった
- 2 少し変わった

3 変わっていない → 問9

この欄には
記入しないで
ください



41

問7 仕事の内容が変わった主な理由は、次のうちどれですか。あてはまるものの番号をいくつでも○でかこんでください。

- 1 新しい機械設備の導入、生産方法の変化
- 2 製品、材料の変化
- 3 昇進・昇格
- 4 社内の部門間の人員過不足の調整
- 5 教育のためのローテーション
- 6 関連会社へ出向
- 7 転職
- 8 その他()

42

50

問8 新しい仕事になれるのに努力が必要でしたか。

- 1 かなりの努力が必要であった。
- 2 大して努力を必要としなかった。
- 3 努力は必要でなかった。

問9 あなたは現在の仕事についてどう考えていますか。つぎのそれぞれについてあてはまる番号を一つずつ○でかこんでください。

- 1. 現在の仕事はあなたの性格にあっていますか { 1 あっている
2 あっていない
3 どちらともいえない
- 2. 自分の能力が仕事に生かせていますか { 1 生かせている
2 生かせていない
3 どちらともいえない
- 3. 会社にとって重要な仕事をしていると感じていますか { 1 感じている
2 感じていない
3 どちらともいえない
- 4. 自分の仕事は単調だと思いますか { 1 思う
2 思わない
3 どちらともいえない
- 5. 自分は機械に使われていると感じることがありますか { 1 感じる
2 時々感じる
3 感じない

51

52

53

54

55

2. 技術革新について

問 10 あなたの勤め先は、新しい機械設備の導入や生産方法の改善に積極的だと思いますか。

- 1 思う
- 2 思わない
- 3 どちらともいえない

問 11 現在、従事している仕事であなたは、下の表にあるような自動化機械を操作又は使用していますか。

- 1 自動化機械を操作・使用している。
- 2 していない → 問 12 へ

問 11 A その自動化機械の種類は、次のどれですか。あてはまるものの番号をいくつでも○でかこんでください。

種	類	用 途
1	NC工作機, マシニングセンター (プログラムテープの指令によって自動的に加工する工作機械)	機 械 加 工
2	トランスフェーマシン (数台の専用機を加工順序に従って並べ、工作物を順次自動的に移動させることによって全加工を完了する専用機群)	機 械 加 工
3	産業用ロボット (人間の四肢の運動機能に類似した自由度の高い運動機能によって加工, 搬送, 検査, 測定等の作業を自動的に処理する機械設備)	加工, 搬送 検査, 測定
4	CAD・CAM (コンピューターによって自動設計から自動製造までを行う機械設備)	設 計, 加 工
5	プロセス・オートメーション (化学反応, 製鋼, 精糖等を自動的に連続処理する装置)	流体加工処理
6	上の5種以外で、生産の自動化のため、エレクトロニクスを応用した自動制御機器が組みこまれた自動化機械設備 おわかりであれば、具体的機種名をあげてください。 ()	

問 12 問 11の機械設備以外に、現在、あなたが操作又は使用している主な機械設備, 工具の種類を記入してください。

(例 フライス盤, 半自動溶接機, ロックミシン等)

[]

この欄には
記入しないで
ください

56

57

58

59

60

61

62

63

64

68

問 13 新しい機械設備の導入や生産方法の改善等によってこの5～6年の間に仕事の内容や従業員の配置にどのような影響があったと思いますか。次のそれぞれについてあてはまるものの番号を一つずつ○でかこんでください。

この欄には
記入しないで
ください

(1) 従業員のいやがる仕事を機械が代わってするようになった。

- 1 そう思う
- 2 そうは思わない
- 3 どちらともいえない

70

(2) 機械の速さについてゆくために、従業員の労働は一層きつくなった。

- 1 そう思う
- 2 そうは思わない
- 3 どちらともいえない

71

(3) 技能者のもっている技能の価値が低下した。

- 1 そう思う
- 2 そうは思わない
- 3 どちらともいえない

72

(4) 技能者も、新しい技術について積極的に勉強していかないと一人前に仕事ができなくなった。

- 1 そう思う
- 2 そうは思わない
- 3 どちらともいえない

73

(5) 機械設備に対する管理責任など技能者のになう責任が重くなった。

- 1 そう思う
- 2 そうは思わない
- 3 どちらともいえない

74

(6) 生産現場の仕事は、誰がやっても変わらないようになった。

- 1 そう思う
- 2 そうは思わない
- 3 どちらともいえない

75

(7) 工程の重要な部門は若い人が担当し、中高年者は補助的部門に回されるようになった。

- 1 そう思う
- 2 そうは思わない
- 3 どちらともいえない

(8) 中高年者も新しい技術を習得して、若い人に負けずにやっている。

- 1 そう思う
- 2 そうは思わない
- 3 どちらともいえない

(9) 中高年者のうちには、新しい技術からとり残されるのではないかと
いう不安感をもつ者が増えている。

- 1 そう思う
- 2 そうは思わない
- 3 どちらともいえない

(10) 新しい機械設備や生産方法が導入されてもその影響を受けるのはわず
かな人たちである。

- 1 そう思う
- 2 そうは思わない
- 3 どちらともいえない

この欄には
記入しないで
ください

76

77

78

79

3. 多能工化について

問 14 現在、あなたがしている仕事の内容を具体的に記入してください。

例 「モーター部品の機械加工」「カメラの組立」など

{ }

80

83

問 15 その仕事は、次のどちらに近いですか。

- 1 多能工(いくつか種類の異なる機械又は仕事を一人でこなす)
- 2 単能工(一人一人が、1種類の仕事を専門的にこなす)
- 3 どちらともいえない

86

4. Q C , Z D等について

この欄には
記入しないで
ください

問 21 あなたの勤め先には、Q C サークル , Z D グループなど品質管理 , 能率改善等を目的とした自発的な従業員の小集団がありますか。

- 1 ある 2 ない → 問 23 へ

97

問 22 あなたはその小集団に参加していますか。

- 1 リーダーとして参加している
2 一般のメンバーとして参加している
3 参加していない

98

問 23 Q C , Z D など小集団活動についてどう思いますか。

- 1 大いに賛成
2 まあ賛成

- 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば反対
5 全然反対

99

問 24 賛成される理由は次のどれですか。主なものの番号を2つまで○でかこんでください。

- 1 現場のことを一番よく知っているのは現業員だから
2 仕事のはげみになるから
3 能力の向上に役立つから
4 会社のためになることだから
5 その他()

問 26 へ

100

問 25 賛成されない理由は次のどれですか。主なものの番号を2つまで○でかこんでください。

- 1 品質管理は、管理者・技術者の仕事だと思うから
2 時間外活動のため自由時間が少なくなるから
3 時間外活動をしても超勤手当がでないから
4 勉強に追われるから
5 提案の結果が、従業員のためにならないから
6 その他()
7 わからない

102

問 28 これから勉強したいと思っっていることがありますか。(今までの勉強を今後も引きつづきしたい場合も「ある」に含めてください)

1 ある

2 ない → 問 31 へ



問 29 勉強したい内容を次の項目から3つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 新しく導入された機械設備, 生産方法
- 2 コンピューターの一般的知識
- 3 コンピューターのプログラミング
- 4 資格の取得
- 5 部下の指導監督
- 6 図面の読図
- 7 外国語
- 8 数学, 物理の基礎
- 9 機械設備の修理保守
- 10 シーケンス
- 11 I E
- 12 Q C, Z D
- 13 問題解決
- 14 安全衛生
- 15 老後の生活設計のためのもの
- 16 その他()

問 30 その勉強はどのような方法でしたいと思っいますか。主なものの番号を2つまで○でかこんでください。

- 1 勤め先での研修・講習によって
- 2 職場で上司, 先輩から日常の仕事をとおして
- 3 職場の同好者が集まって自発的に
- 4 職場の他部門への配転又は応援によって
- 5 勤め先の支援を受けて外部の研修, 講習に参加して
- 6 独力で外部の研修, 講習に参加して
- 7 通信教育によって
- 8 その他()

この欄には
記入しないで
ください

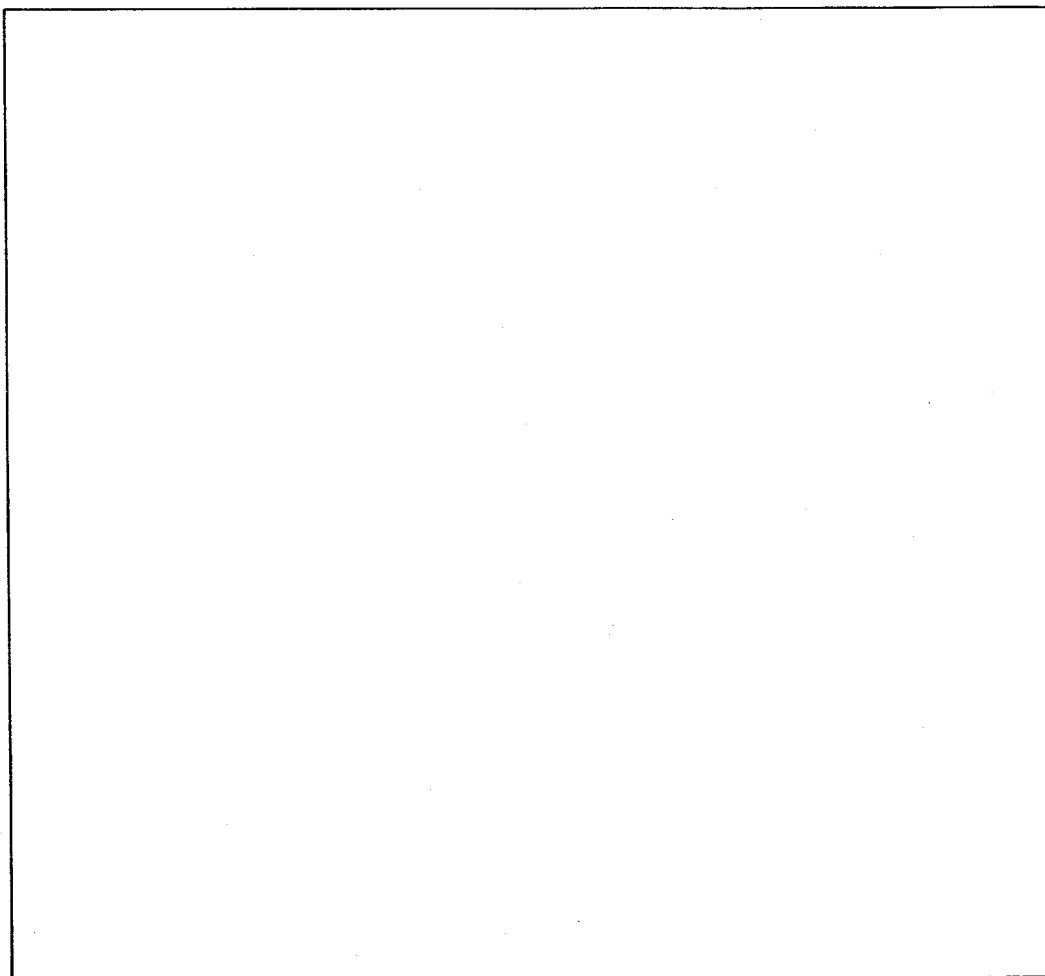
35

36

40

42

問 31 本調査について御意見があれば何でも結構ですから御記入ください。



御多忙中のところ、長時間にわたり御協力いただきたいへんありがとうございました。